

社会福祉法人松戸市社会福祉協議会
令和4年度第5回松戸市居場所づくり全体会議要旨

1 日 時 令和5年2月14日(火) 午後1時30分～3時15分

2 会 場 松戸市社会福祉協議会 第1・2ボランティア室

3 議 事

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報 告

(1)各地区の進捗状況報告について

(2)「まつど DE つながるステーション」の実施報告について(馬橋西地区)

4. 議 題

(1)「まつど DE つながるステーション」活動費の精算について(明第1地区・小金原地区)

(2)令和5年度「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について(東部地区・馬橋地区・六実六高台地区・小金地区・常盤平地区)

5. その他

令和4年度松戸市居場所サミットについて(報告)

4 出 席 者

(1)出席委員(10名)

会長	文入 加代子	松戸市社会福祉協議会 会長
副会長	恩田 忠治	松戸市町会・自治会連合会 会長
委員	安蒜 正己	松戸市町会・自治会連合会 副会長
委員	阿部 剛	特定非営利活動法人まつどNPO協議会 理事
委員	松村 大地	特定非営利活動法人まつどNPO協議会 理事
委員	伊東 朱美	松戸市総合政策部 部長
委員	上野 真一	松戸市市民部 部長
委員	大渊 俊介	松戸市健康福祉部 部長
委員	藤谷 隆	松戸市生涯学習部 部長
委員	小川 早苗	松戸市社会福祉協議会 副会長

(2)出席機関(6名)

松戸市総合政策部地域共生課

(3)事務局(8名)

松戸市社会福祉協議会

5 議題内容

■各地区の進捗状況報告について

松戸市地域共生課より説明。

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

■「まつど DE つながるステーション」の実施報告について(馬橋西地区)

松戸市地域共生課より説明。

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

■「まつど DE つながるステーション」活動費の精算について(明第1地区)

(1)明第1地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

明第1地区イベント開催概要

イベント名	はばたけ明第一 ～世代をこえて～
目的	地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
開催日時	令和4年11月23日(水・祝) 10時～12時
開催場所	野菊野こども園大ホール(野菊野5)
開催内容	プラとんぼ、紙飛行機、ビーチボール、紅白玉入れ、紙芝居、もぐらたたき
主な対象者	明第1地区の子どもとその保護者、高齢者や中高生
参加者人数	92名
運営者人数	15名
広報手段	ポスター掲示／町会掲示板・回覧版／その他(口コミ・各実行委員の活動での告知)
実績報告額	40,000円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

未就学児と低学年のお子さんが多く参加し、同じくらい的人数で大人も参加しているが家族で参加した人が多かったのか。

【回答】

家族連れ、高齢者のご夫婦、ひとりでの参加など様々であったが、家族連れが多かった印象がある。

■「まつど DE つながるステーション」活動費の精算について

(2)小金原地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

小金原地区イベント開催概要

イベント名	小金原地区「まつど DE つながるステーション」イベント
目的	ステーションの予定と地区内既存活動を周知し、定期開催へ活かす。
開催日時	令和4年12月17日(土) 10時～13時
開催場所	小金原市民センター(小金原 6-6-2)
開催内容	・地区内の既存活動を周知、体験 ・体験を通じての多世代間交流 ・小金原地区および市内の各種情報提供 ・アンケート
主な対象者	・子どもとその保護者 ・高齢者、高校生等のわかもの等
参加者人数	90名
運営者人数	44名
広報手段	チラシ配布・ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ・各実行委員の活動での告知)
実績報告額	40,000円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

参加していただいた方のアンケートで今後やってほしいことの中に、子どものコミュニケーションの場とあるがどんなことを望んでいるのか。

【回答】

アンケートの回答内容をその場でお伺いすることはできなかつたため想像となるが、おやこ DE 広場や地区社会福祉協議会等の方に担っていただき、乳幼児スペースや絵本の読み聞かせ等を開催できたので、そのようなスペースがあれば良い、という主旨だと思う。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

【感想・ご意見】

企業の方が来ており、特徴的なことなので当日の様子に掲載したらよいと思う。

■令和5年度「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について

(1)東部地区

令和4年度東部地区ステーション実施報告、令和5年度「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

東部地区ステーションの開催概要

ステーション名	東部地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
開催日	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月(毎月開催予定)
開催場所	松戸市大橋 1102、秋山集会所、和名ヶ谷集会所、東松戸ゆいの花公園 等
開催内容	・飲食物の提供や工作体験等を通じての多世代間交流 ・東部地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	・子どもとその保護者 ・高齢者、高校生等のわかもの等
参加者人数	1 回 40 人程度
運営者人数	1 回 10 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
助成金申請額	480,000 円

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

(2) 馬橋地区

令和 4 年度馬橋地区ステーション実施報告、令和 5 年度「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

馬橋地区ステーションの開催概要

ステーション名	まばし DE エンジョイ!
目的	地域で子どもたちが交流したり、子ども同士で外遊びをする機会が減少している現代社会において、地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
開催日	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月(毎月開催予定)
開催場所	馬橋東市民センター、八ヶ崎市民センター、県立松戸高校、各町会会館 等
開催内容	・昔遊び等を通じた多世代交流 ・馬橋地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	・子どもとその保護者 ・地域の高齢者、中高生等
参加者人数	1 回 20～100 人程度

運営者人数	1回 20人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（ロコミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	480,000円

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

(3) 六実六高台地区

令和4年度六実六高台地区ステーション実施報告、令和5年度「まつどDEつながるステーション」の承認・活動費の支出について

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

六実六高台地区ステーションの開催概要

ステーション名	つどうde6∞6(ツドウデロクロク)
目的	既存の居場所等に来る機会がなかった方々の参加を目指し、多世代間および運営者間の交流促進、つながりづくりを目的とする。
開催日	令和5年4月～令和6年3月(毎月開催予定)
開催場所	六実市民センター、高柳町会会館、にじいろパル松戸六実、信隆寺、やなぎ町会館、六実集会所、郵政宿舍集会所 等
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルスポーツ、体操、昔遊びなどのプログラムを通じて、多世代間交流および居場所運営者間交流を図る ・六実六高台地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	六実六高台地区の方々および居場所運営などに関わるの方々等
参加者人数	1回 10～20人程度
運営者人数	1回 10人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（ロコミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	480,000円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問1】

新たな担い手の方に参画いただいたとのことだが、どんな方か。

【回答1】

主に実行委員会の方からの紹介で、近隣の鍼灸師や昔の遊びと遊ぼう会という団体にご参画いただいた。

【質問2】

支出に協力者への謝礼とあるが、地域の専門性を持った人達への謝礼ではないのか。ど

のように使われているのか。ボランティアの一員ではないのか。

【回答 2】

今年度は鍼灸師や、落語家等にきていただき、ひとり 3,000～5,000 円のクオカードを謝礼として渡している。来年度も同じようにする方向。協力者には材料費を含め道具を持参していただいております、そういったことも含めた謝礼なので、ご理解いただければと思う。

【質問 3】

定期開催している地区は来年度も同様に実施するとなっている。参加人数にばらつきがある。アンケート調査をするにあたり、開催時期、場所、内容が異なるが状況によってアンケート内容を変えるのか。アンケート結果を踏まえながら変えていくのか。

【回答 3】

アンケートの基礎項目として共通項目をいくつか設けているが、それ以外は各地区、場所やプログラムの内容によって変えている。

人数にばらつきがあるのは、実行委員会で活動を知ってもらいたいとか出会うきっかけが必要との考えから、学校や市民センターでの大がかりなもの、高齢者等の移動手段を考えて足を運びやすいよう地域の会館や集会所等での開催があるからである。

(4) 小金地区

令和 4 年度小金地区ステーション実施報告、令和 5 年度「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

小金地区ステーションの開催概要

ステーション名	小金わくわく農園
目的	農福連携をテーマに、農作業を通じて子どもから高齢者等の多世代交流の機会創出を目的とする。
開催日	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月(毎月開催予定)
開催場所	・農園(農作業場所):松戸市平賀 ・拠点:赤門家(松戸市平賀 7-2) ・小金北市民センター 等
開催内容	・農作業を通じての多世代交流(農作物の手入れ、収穫等の農作業) ・収穫イベント ・農作業をテーマとした講演会等の学びの場 ・小金地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	・小金地区内の子どもとその保護者 ・小金地区内の高齢者や障害福祉施設利用者等
参加者人数	1 回 20～60 人程度
運営者人数	1 回 10 人程度

広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	480,000 円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問 1】

報告にタウンミーティングとあるがどういったことをするのか。

【回答 1】

次年度は実行委員会ですべて決めるのではなく、子ども達がより主体的に活動し、わくわく農園に愛着をもってもらいたいと考えている。タウンミーティングを開催し、子ども達や参加者が次はどんな野菜を作りたいか、どんなことをしたいか意見を聞き、みんなで計画しみんなで作っていく農園にしたい。

【質問 2】

農福連携を目指しているが“福”の部分で高齢者は来ているが障害関係がなかなかといった話があった。来年度はどういったことを考えているのか。

【回答 2】

障がい者を有している方、近隣の高齢者施設の方と入居者も参加し、農作業を喜んでくれた。来年度もいろいろな形で輝ける場を提供できればと思っている。また、実行委員会から近隣の障害者施設に声かけをしているので、来年度参加していただければと思う。

(5) 常盤平地区

令和 5 年度「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について
松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

常盤平地区ステーションの開催概要

イベント名	まつど DE つながるステーション in ときわ平
目的	常盤平地区において実行委員会が立ち上がり、今後、様々な活動を常盤平地区で進めて行くことを地域住民へ周知し、定期開催へ活かす。
開催日	令和 5 年 4 月 23 日（日） 13 時～16 時
開催場所	明尽苑（金ヶ作 296-1）
開催内容	・地区内の既存活動を周知・体験 ・常盤平地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	・子どもとその保護者 ・高齢者、高校生等の若者等
参加者人数	200 人程度
運営者人数	40 人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各委員の

	活動での告知)
助成金申請額	40,000 円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

全体的なことだが事業の持続の部分がネックになっていると思う。来年度より各地区、お祭りや町会のイベントが再開してくるのでないか、実行委員のほとんどが町会の方だと思うので負担がでてくるのではないかと懸念している。次年度の運営を実行委員会の方はどのように考えているのか、負担がかかって苦しめてしまうのは本末転倒であると思う。

【回答】

活動いただいている担い手の方がどのような地域活動をしているのか、また、今年度の実施を踏まえて必要だと思うこと、負担に感じていること等のアンケートを実施している。集計結果は来年度第1回全体会議で報告させていただく。事業を継続して行くことが一番大切なことだと思うので、地域の方の無理がないよう検討していきたい。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

全体的によい活動をしていると感じた。今までなかったものが新しい運営者と重ね合わせり生まれていると思った。目的はあっても目標がないと何が良かったかわからないので、目標があればよいと思う。目標に対しての達成度も重要だと思う。

プレイベントから定期開催になるまで期間があいてしまうので、きっかけや仲間作りなど持続性のあるものに対する支援があるとよいと思う。

6 その他

(1)令和4年度松戸市居場所サミットについて(報告)

事務局より説明。

(2)今後の予定

令和5年度第1回松戸市居場所づくり全体会議の開催

日時:令和5年4月14日(金)午後1時30分～

(3)松戸市居場所づくり全体会議委員候補者の推薦について

令和5年3月31日をもって委員委嘱期間満了となるため、次期委員候補者の推薦について、事務局より案内。